

平成25年

主な出来事

このコーナーでは、平成25年1月から12月までにあった主な出来事について抜粋して掲載します。

昨年を振り返り、新しい気持ちで1年の目標などを立ててみましょう。



Satsuma sendai topics 01

中国定期コンテナ航路・神戸国際フェーダーコンテナ航路開設

8月、神原汽船株式会社が中国定期コンテナ航路を、オリエント オーバーシーズ コンテナ ライン リミテッドが神戸国際フェーダーコンテナ航路を開設しました。川内港では、これまで韓国航路が週2便で運航していましたが、両航路の開設により週4便となりました。南九州の国際貿易港として活用されることが期待されます。



Satsuma sendai topics 03

国主催の原子力総合防災訓練実施

10月、福島第一原子力発電所事故後初めてとなる国主催の原子力総合防災訓練が九州電力(株)川内原子力発電所の緊急事態を想定して、実施されました。これは同事故の教訓を踏まえ策定した、鹿児島県や本市地域防災計画原子力対策編に基づき、住民の協力を得て、原子力防災対策に係る関係機関相互の連携強化や地域住民の防災意識の向上を図ることを目的としたもの。130機関、約3,400人が参加し、2日間にわたり訓練を実施しました。



Satsuma sendai topics 02

全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会開催および旧増田家住宅公開

旧増田家住宅の本体修理工事などの完了に伴い、3月に公開記念式典を開催し、4月から一般公開が始まりました。大会には、全国36府県64市町村より約260人の参加がありました。パネルディスカッション、入来麓散策での入来中学校生徒によるスポット説明、情報交換会などでの地元関係者らによるおもてなしなど全国に入来麓の魅力を発信する絶好の機会となりました。



Satsuma sendai topics 05

南九州西回り自動車道(薩摩川内水引IC～薩摩川内高江IC)の開通

南九州西回り自動車道「川内隈之城道路」のうち薩摩川内水引IC～薩摩川内高江IC間が3月に開通し、人や物流への効果がみられました。9月には、阿久根～薩摩川内水引IC間のルート案が提示され、都市計画案の地元説明会が開催されました。今後も、関係機関と一体となって早期事業化に向けて取り組んでまいります。



Satsuma sendai topics 04

「サンアリーナせんだい」がバレーボール競技強化センターに認定

市総合運動公園総合体育館(サンアリーナせんだい)が2016年のリオデジャネイロオリンピック(リオ五輪)に向けたバレーボール競技の強化センターに認定され、4月に認定看板が設置されました。県内でリオ五輪に向けた強化センターに認定されたのは同体育館が初めてで、認定期間は同五輪終了までです。昨年は、バレーボールや野球などの本市でのスポーツ合宿が増えています。



さらなる飛躍と発展を 躍動 薩摩川内

薩摩川内市長

岩切 秀雄

きたいと考えております。

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、新春を健やかに迎えることと、心からお喜び申し上げます。昨年を振り返りますと、国内各地で局地的な異常気象による災害や記録的な猛暑が発生し、改めて防災に対する認識を強めた年でした。

一方で、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の決定には日本中が歓喜の渦に包まれた年でもありました。本市も3月に総合運動公園総合体育館がオリンピックバレーボール競技強化センターに認定されており、機運が高まるものと期待しております。本市の主な動きとしては、観光シテイセールスでは、3月に肥薩おれんじ鉄道の「おれんじ食堂」が運行開始したほか、4月には株式会社薩摩川内市観光物産協会が設立され、物産販路の拡大や観光ツアアの売り込みなど順調に事業が展開しております。

次世代エネルギーでは、甌島のエコアイランド化を目指した電気自動車レインタカー導入実証事業を行ったほか、ビジョンおよび行動計画を策定し、本市のエネルギー推進のモデルとなる総合運動公園防災機能強化事業などを実施しました。

スポーツ合宿では、日本男女バレーボールチームをはじめ千葉ロッテマリーンズや韓国のSKワイバーンズなど多くのプロスポーツチームに利用していただき、総合運動公園が多くの人でにぎわいました。

社会基盤整備では、3月に南九州西回り自動車道高江・水引間が開通したほか、蘭牟田瀬戸架橋建設における2号トンネルの貫通、川内川市街部改修事業の促進、既存住宅の改修支援、耐震化の促進および住宅関連産業の活性化などに努めました。

今年度は「うま」は「物事が『うま』くいく」「幸運が駆け込んでくる」など縁起のいい動物といわれています。何事にも発展、前進していく年となります。皆様のご健康とご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

また、いよいよ4月から高速船「甌島」が就航します。川内甌島間の交通アクセス向上や若者の定住を図るため、高速船に加え、シャトルバスや川内港待合所も日本を代表する工業デザイナー水戸岡鋭治氏のデザインを活用し、市民や観光客に親しまれる航路の開設を目指します。

